



SOKA University

Discover your potential  
自分力の発見

# 産業界のニーズに応える 就業力育成の取組み

創価大学  
キャリアセンター長  
経済学部教授  
長谷部秀孝

# 本日の報告の内容

1. 創価大学の概要
2. 文科省のGPへの取組み
3. 就業力育成とその評価方法
4. 社会貢献と経済学
5. 東北復興インターンシップ
6. まとめ

Discover your potential  
自分力の発見

# 1. 創価大学の概要



- ・創立 1971(昭和46)年 2010年＝創立40周年
- ・設置学部 7学部6研究科 通信教育部3学部(＊)  
経済学部＊／経営学部／法学部＊／文学部  
教育学部＊／工学部／看護学部  
経済学研究科・法学研究科・文学研究科・工学研究科  
法科大学院・教職大学院
- ・所在地 東京・八王子市  
87万平方メートル  
(東京ドーム18個分)
- ・学生数 学士課程 8,264名  
大学院 533名



# 建学の精神

## ◇人間教育の最高学府たれ

Be the highest seat of learning for humanistic education

## ◇新しき大文化建設の<sup>ようらん</sup>揺籃たれ

Be the cradle of a new culture

## ◇人類の平和を守るフォートレス（要塞）たれ

Be a fortress for the peace of humankind



## 2. 文科省のGPへの取組み



# 創価大学「**経済学部**」として、以下の文科省の GPに採択

平成19年度「**特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)**」  
テーマ:グローバル化時代の経済学教育

平成22年度「**大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)**」  
テーマ:学問・世界・仕事へのリンクが育む就業力

平成24年度「**産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(産業界GP)**」に参加(14大学連携)  
テーマ:関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

# 「特色GP」の 取組み

Discover your potential  
自分力の発見



# 体系的カリキュラムの導入とFD活動の推進

## A. 体系的なカリキュラム

シラバス・試験の共通化

コース制の導入

IPカリキュラムと専門科目の調整・融合

基幹科目シラバス・テキストの統一

## B. 初年次教育の導入・充実

「基礎演習」の導入

経済数学入門

入学準備プログラム

## 学部教育改革の実現

## C. 公正で厳格な成績評価

スタッフ間の成績評価基準

の標準化

教授会での公開と説明

## D. FDの推進

大学主催FD研修への積極的参加

学部主催のFD研修会の開催

学生による授業アンケート結果の

公開と改善努力

# 学部改革への取組みのステップ

教育課程  
の改革



キャリア  
教育の改  
革



キャリア  
教育と専  
門教育の  
連結

# 「就業力G P」における 主な4つの取組み

1. 創価大学の**就業力**を定める
2. **就業力テスト**を作る
3. **MyMap**の導入(学生への指導体制整備)
4. 「**社会貢献と経済学**」の設置

# 創価大学の就業力(ジェネリックスキル)一覧

論理的思考力	複眼的な視点から論理的に思考を展開する力
言語表現力	日本語及び外国語を用いて、正確な文章を書き、話す力
数量的分析力	数量的・統計的データを正確に把握し、分析する力
対人基礎力	目標に向けて他者と協力的に仕事を進める力
討議推進力	世界の多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力
自己育成力	自らの行動を律し、理想とする自己に近づけていく力
課題設定力	客観的に情報を収集し本質的な課題を設定する力
目標達成力	自らの計画や目標を、具体的に実現していく力
創造的思考力	既成概念にとらわれず、独創的に考える力

リテラシー

コンピテンシー

# 3. 就業力育成とその評価方法



# 「就業力」を測定するテストが必要

Step1

学生の適  
性を探す  
ため



Step2

自己の能  
力把握の  
ため



Step3

学生の成  
果の評価  
のため

OKA

UNIVERSITY



## **=問題点=**

**本学の「就業力」と  
PROGの測定項目等が異なる**

- ★本学の「就業力」の測定結果が出る  
ようにPROGの測定出力方法を変更
- ★本学の「就業力」に合ったガイドブッ  
クを作成

**本学オリジナルの「就業力客観テスト」  
として完成**

# 「就業力客観テスト」と「PROG」との関係性

## 【創価大学の就業力】

## 【PROG】

大学就業力	定義	中分類	内容/小分類	
1.論理的思考力	複眼的な視点から、論理的に思考を展開する力	リテラシー	課題発見力	問題の洗い出し・整理・分析・課題の設定
			構想力	構想力・解決策の絞込み・解決策の具体化
2.言語表現力	日本語及び外国語を用いて、正確な文章を書き、話す力	リテラシー	言語分析力	言語的処理力
3.数量的分析力	数量的・統計的データを正確に把握し分析する力		数量的分析力	数量的処理力
4.対人基礎力	目標に向けて、他者と協力的に仕事を進める力	コンピテンシー	親和力	親しみ易さ 気配り 対人興味・共感・受容 多様性理解
			協働力	役割理解・連携行動 情報共有 相互支援
5.討議推進力	世界の多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力	コンピテンシー	統率力	話し合う 意見を主張する 建設的・創造的討議
6.自己育成力	自らの行動を律し、理想とする自己に近づけていく力		感情抑制力	セルフアウェアネス ストレスコーピング
		自信創出力	独自性理解 自己効力感・楽観的思考	
7.課題設定力	客観的に情報を収集し、本質的な課題を設定する力	コンピテンシー	行動持続力	主体的行動 完遂
			課題発見力	情報収集 本質理解
8.目標達成力	自らの計画や目標を、具体的に実現していく力	コンピテンシー	計画立案力	目標設定 シナリオ構築
			実践力	行動を起こす 修正・調整 遵法性・社会性
9.創造的思考力	既成概念にとらわれず、独創的に考える力	コンピテンシー	実践力	創造力

# 創 価 大 学

## 就業力客観テスト・個人結果

受験日: 2013年1月  
管理番号: R0000690433  
学籍番号: 10M0000  
氏 名: サンプル

リテラシー

**論理的思考力** 複眼的な視点から論理的に思考を展開する力

6

**言語表現力** 日本語及び外国語を用いて、正確な文章を書き、話す力

5

**数量的分析力** 数量的・統計的データを正確に把握し、分析する力

8

**対人基礎力** 目標に向けて他者と協力的に仕事を進める力

2

**討議推進力** 世界の多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力

5

**自己育成力** 自らの行動を律し、理想とする自己に近づけていく力

6

**課題設定力** 客観的に情報を収集し本質的な課題を設定する力

6

**目標達成力** 自らの計画や目標を、具体的に実現していく力

6

**創造的思考力** 既成概念にとらわれず、独創的に考える力

6

1 2 3 4 5 6 7 8 9

※【環境変革力】はガイドブックをご参照ください。

コンピテンシー



学籍番号

氏名

go next	<h1>就業力強化書</h1>			
	<h2>Employability Power-up</h2>			
	<h1>GUIDE BOOK</h1>			
	short break			
START	GOAL			

# 4

## 対人基礎力

目標に向けて、  
他者と協力的に仕事を進める力

対人基礎力とは…



対人基礎力とは「いろいろな人とすぐ仲良くなって、信頼関係を築ける力」、いつも笑顔で人と接することができる、「フレンドリー」な人を目指そう。言葉や文化が違って、異なる魅力は全世界共通なのだ。

対人基礎力をマスターすると、  
こんなことができる！

- よく知っている人だけでなく、初対面の人たちともすぐにフレンドリーな人間関係を築ける！友達づくりの達人に！
- 相手の立場になって、穏やかな気配りをしながら、まわりの人の意見や気持ちを理解、多くの人から信頼される人になれる！
- 自分とは違う意見だったり、考え方だったりしても、受け入れることができる！誰とでも協力して仕事を進められる！

### 対人基礎力と相関する主な就業力

対人基礎力を伸ばすと、以下の就業力もUPさせられる可能性大。一緒に伸ばしたい就業力をチェックしよう。

- 5 討議推進力**  
自分の意見を主張しながらも、異なる意見にも耳を傾け、内容あるディスカッションができる力
- 6 自己育成力**  
感情やストレスをコントロールし、自分の強みを伸ばしながら、やりたいことや夢を実現できる力
- 8 目標達成力**  
ゴールをイメージして目標設定し、行動プランを立案、そのプランを柔軟に修正しながら目標達成できる力。

## 創価大学の就業力UP解説

—就業力の具体的な強化方法のヒント—

### 対人基礎力UP 8のアドバイス

まわりの人と協力して、高い目標に向かって走り、達成していく力が対人基礎力。人間関係づくりの達人を目指そう！

ADVICE  
**1**

いつもにこやかな笑顔で  
まわりの人と接する

笑顔はまわりの人をハッピーにさせるから、にこやかな人のまわりには人が集まってくる。あいさつするとき、人の話を聞くとき、ちょっと笑顔をして、いつもより大きな笑顔で接してみよう。きっとこれまでより、友好な人間関係を築くことができるようになる。

ADVICE  
**2**

話を聞くとき、  
うなずき上手になる

多くの人は、自分の話を聞いてくれる人に親しみを感じる。相手の目をみて、「うん、うん、そうだね」と、ちょっとオーバークッションでうなずきながら話を聞いてみよう。「あなたの話を、真剣に聞いていますよ」ということを、相手にシンプルに伝えられる。

ADVICE  
**3**

「困ってるのかな？」と  
感じたら、ひと声をかける

人間関係の達人は、まわりの人の事情やそぶりにとても敏感。「困っているのかな？」「何か悪いのがあるのかな？」と感じたら、「どうしたの？」と、自分からひと声をかけてみよう。声をかけられると、人は驚きやすくなる。素敵な人間関係を築き上げられる。

ADVICE  
**4**

ちょっとおせっかいな  
人になってみる

「あの、玉子焼や知り合いが多いな」という人は好奇心が旺盛で、けっこう、何でも首を突っ込んでいたりすることが多いのでは。人間関係を広げるには、「ちょっとおせっかいな人」になってみるのがおすすめ。人は自分に興味を持つ人と仲良くなりたいたいと感じるからだ。

ADVICE  
**5**

自分と違う意見も  
じっくり聞いてみる

友達の話を最後まできちんと聞いているだろうか。自分の意見や考え方を述べてと返論したくなるかもしれないが、相手の話をささげずのは「あなたを尊重！」という印象を与えてしまう。相手の立場になって、まずは意見を受け入れてみる。それが良好な人間関係を築くコツ。



ADVICE  
**6**

思い通りじゃなくても  
釋一呼吸ってみる

悪事やワークル活動で思い通りのポジションや役割を与えられなかったとき、あなたはどどうする？ 今の気がでないかもしれないが、気持ちを切り替えて、第一杯、取り替えてみよう。どんなときでも前向きな姿勢の人には、「一緒に何かやり遂げたい」と仲間が集まってくる。

ADVICE  
**8**

ボランティアで  
いろいろな人と接する

対人基礎力をマスターすると、高い目標に向かって、いろいろな人と一緒にやり遂げられる人になれる。ボランティアは様々な年齢や立場の人が入り交じったゲームで活動するので、対人基礎力を磨ける。それぞれ異なる魅力があるから、1人ではできないことを成し遂げられるのだ。



ADVICE  
**7**

丁寧な引き継ぎで  
バイト先で信頼UP!

ゲームで何かを行う場合は情報共有が大事。その力を磨くいいチャンスがアルバイト先での引き継ぎ。勤務時間が終わったからとさっさと帰らないで、気になること、共有しておくいいことを同僚に丁寧に伝達して、仕事をやりやすくしよう。バイト先での信頼度UP!

# 本学での「就業力客観テスト」の実施状況

- 学生自身の現時点でのジェネリックスキルの把握のため利用
- 1年次の1月に**全学部で実施**(昨年度より)  
受験率→約95%
- 経済学部は、3度目の実施

# 2013年1月実施 就業力客観テスト 受験者数内訳

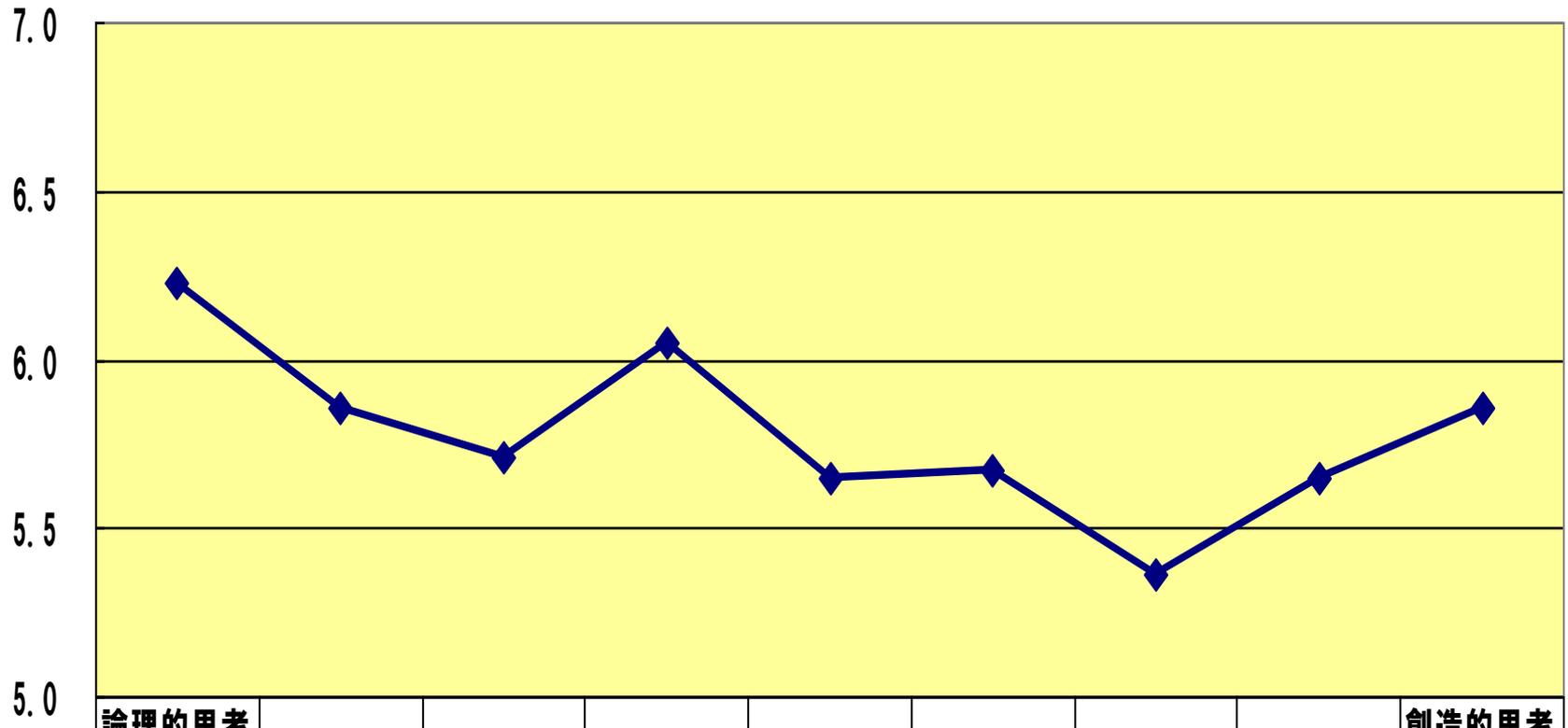
## 学部×学年

	1年	2年	3年	4年	M1	不明	合計
教育学部	205	0	0	3	0	0	208
経営学部	271	0	0	13	0	0	284
経済学部	254	0	0	20	1	0	275
工学部	226	0	0	7	0	0	233
文学部	420	0	0	9	0	0	429
法学部	290	0	0	14	0	0	304
	1666	0	0	66	1	0	1733

## 学年×性別

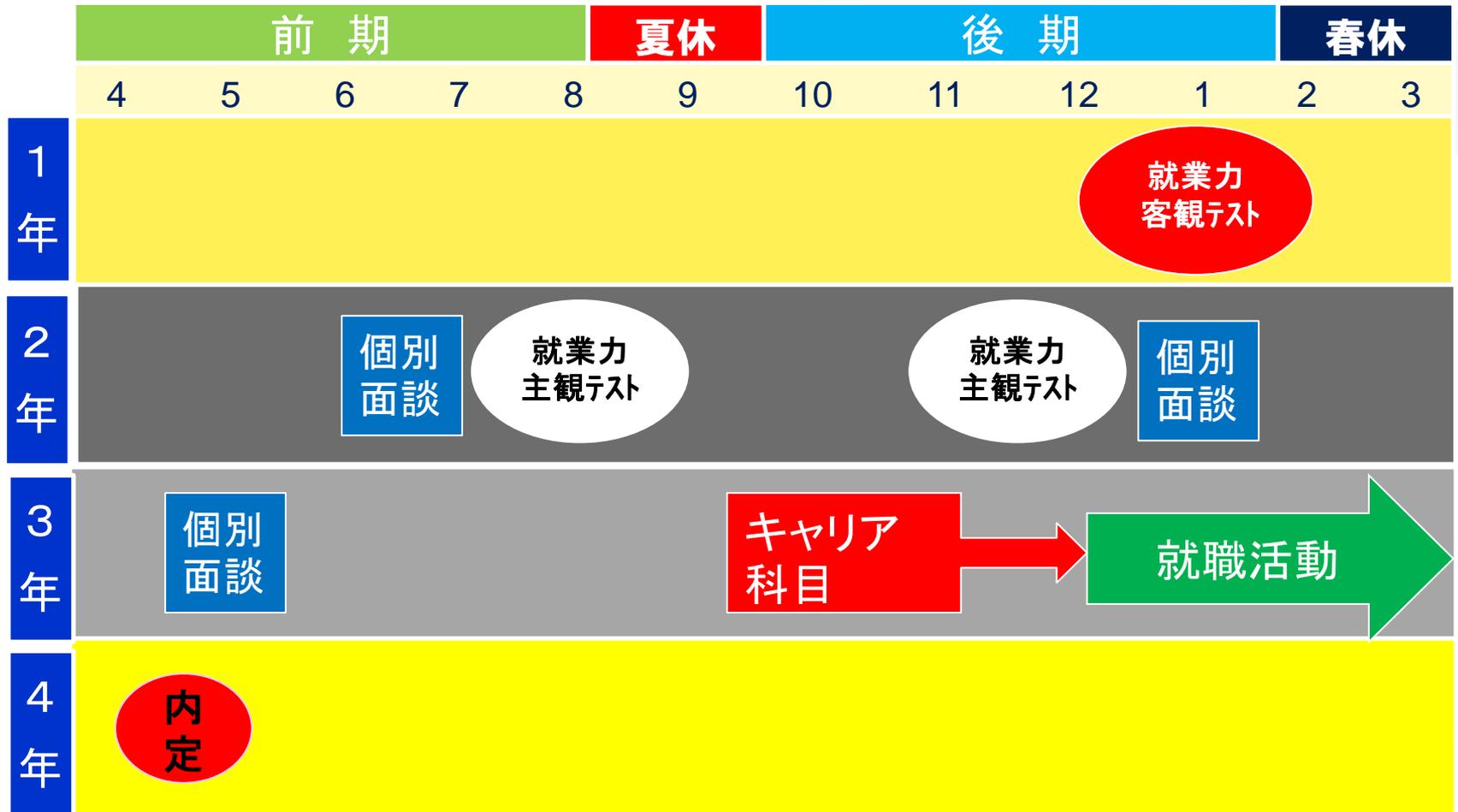
	女	男	計
1年	779	887	1666
2年	0	0	0
3年	0	0	0
4年	37	29	66
M1	0	1	1
計	816	917	1733

# 就業力客観テスト 1年生



◆ 1年生

# 経済学部のカリキュラムデザインマップ



# 「就業力客観テスト」利用のポイント

- ・ 個人の評価には使わない
- ・ 学生自身のジェネリックスキルを把握することを目的に利用する
- ・ フィードバックに力を入れる
- ・ MyMapの作成と結びつける

**\*大学の事情に合わせてカスタマイズすることが重要**

# もうひとつの測定方法「就業力主観テスト」について

○創価大学の就業力(大分類)の構成要素。学生は、小分類の35項目を主観セルフチェック票にて回答し、創価大学の就業力(大分類)を導き出す。

大分類	定義	中分類	設問	小分類	小分類定義
論理的思考力	複眼的な視点から、論理的に思考を展開する力	課題発見力	1	分類	複数の物事を基準となる軸に沿って一つにまとめる
			2	構造理解・判断	複数の概念の関係を理解し、関係が正しいか否かを判断する
		構想力	3	方策を考える	課題解決のために、現実的で実行可能な方策を考える
			4	計画評価	目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てる
			5	リクス分析	幅広い視点からリスクを想定し、事前に対策を講じる
言語表現力	日本語及び外国語を用いて、計画な文章を書き、話す力	言語分析力	6	読解力	文章を読んで、書き手が何を言いたいのかを正確に理解、把握することができる
			7	記述力	論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる。レポート、論文、発表の資料などわかり易くまとめることができる
数量的分析力	数量的・統計的データを正確に把握し分析する力	数量的分析力	8	数的処理能力	数式を使う 図表を読み解く
対人基礎力	目標に向けて、他者と協力的に仕事を進める力	親和力	9	親しみ易さ	話しかけ易い雰囲気をつくる
			10	気配り	相手の立場に立って思いやる
			11	対人興味・共感・受容	人に興味をもつ 相手の話に共感し受けとめる
		協働力	12	多様性理解	多様な価値観を受け入れる
			13	役割理解・連携行動	自分や周囲の役割を理解する 互いに連携・協力して物事を行う
			14	情報共有	一緒に物事を進める人達と情報を共有する
討議推進力	世界の多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力	統率力	15	相互支援	互いに力を貸して助け合う
			16	話し合う	どんな相手に対しても、相手に合わせて、自分の考えを述べることができる
			17	意見を主張する	集団の中で自分の意見を主張する
自己育成力	自らの行動を律し、理想とする自己に近づけていく力	感情抑制力	18	建設的・創造的討議	議論の活発化や発展のために自ら集団に働きかける
			19	セルフアウェアネス	自分の感情や気持ちを認識し、客観的に自分の言動をコントロールする
		自信創出力	20	ストレスコーピング	欲求や恐怖などの悪い影響を及ぼすストレスを処理する
			21	独自性理解	他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識する
		行動持続力	22	自己効力感・楽観性	自分に自信をもつ/やればできるという予測や確信を持つ
			23	主体的行動	自己の意志や判断において自ら進んで行動する
			24	完遂	一度決めたこと、やり始めたことはやり切る/粘り強く取り組みやり遂げる
課題設定力	客観的に情報を収集し、本質的な課題を設定する力	課題設定力	25	良い行動の習慣化	自分なりのやり方を見出し、習慣化する
			26	情報収集	必要に応じて、適切な方法を選択して情報を収集する
目標達成力	自らの計画や目標を、具体的に実現していく力	計画立案力	27	本質理解	事実に基づいて客観的に情報をとらえ、本質的な問題を見極める
			28	目標設定	ゴールイメージを明確にし、目標を立てる
		実践力	29	シナリオ構築	目標の実現に向けた効果的な行動計画、シナリオを描く
			30	行動を起こす	自ら物事にとりかかる、実行に移す
			31	修正・調整	状況をみながら、計画や行動を柔軟に変更する
創造的思考力	既存概念にとらわれず、独創的に考える力	創造的思考力	32	遵法性・社会性	公序良俗・社会ルールに則って自らの発言や行動を律することができる
			33	自己準拠	自由な自己表現に基づいた多様な反応をする
			34	流暢性	考えをよどみなく作り出す
			35	柔軟性・新規性	多様な角度から柔軟に、独創的なアイデアを考える

# もうひとつの測定方法「就業力主観テスト」について

○主観(自己)評価には、各要素ごとに1～9の行動水準に回答する「セルフチェック票」を用います。

※行動水準のレベルを9段階に設定するのは、3段階や5段階では各段階の要求行動レベルに開きが大きく、短期間の経験では水準が変化し難いことがあげられます。水準が上がったことがなかなか実感できないと行動のモチベーションを維持することが難しくなります。

## ●周回や集団に対して (Q5～Q7)

Q5) 【役割理解・連携行動】 自分や周囲の役割を理解する・互いに連携・協力して物事を行う

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 集団の活動には非協力的な方である                                |
| 2 |   |
| 3 | みんなで決めたことは、できるだけ協力するよう心がけている                    |
| 4 |   |
| 5 | 集団の中で、自分の担当の仕事をきちんと遂行することができる                   |
| 6 |   |
| 7 | 自分の役割だけでなく、関係者と連携をとりながら、協力して課題に取り組むことができる       |
| 8 |   |
| 9 | 成果を上げるために、自分の果たすべき役割を自ら理解し、周囲と協力して課題に取り組むことができる |

有す  
えた  
よと

- |   |  |
|---|--|
| 5 | 自らすすんで報告・連絡・相談をし、有用な情報を周囲に伝えることができる              |
| 6 |  |
| 7 | もっている情報を自分が提供するだけでなく、周囲からも有用な情報を引き出すことができる       |
| 8 |  |
| 9 | 個人が有している情報を、各人がすすんで提供し皆で共有するようなくみや環境をつくりだすことができる |

創価大学の就業力 セルフチェック票	
<p>Q 下記のQ1～Q35について、それぞれ1～9の選択肢の中であなたに最も近いものを選びます。 ※文のない欄は、その前後の選択肢の間隔程度と考えてください。(例: 2は1と3の間隔程度)</p>	
<p><b>論理的思考力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q1) 分類: 複数の物事を基準となる軸に沿って一つにまとめる</p> <p>1 複数の物事をいくつかのグループに整理しようとしても、どう分類しても良いと考えつまずく。まとめるのが多い</p> <p>2 与えられた基準や枠組みを自分なりに用いて物事を分類していくが、指書からわかり難いと感じられることがある</p> <p>3 与えられた基準や枠組みを自分なりに用いて物事を分類し、わかりやすくまとめることができる</p> <p>4 与えられた基準や枠組みを自分なりに用いて物事を分類し、わかりやすくまとめることができる</p> <p>5 分類する対象が複雑であったり抽象度が高い場合でも、それを整理できるような基準や枠組みを用いて整理することができる</p> <p>6 物事を分類する際、必要ならば、異なるとも(説明できる新しい基準や枠組みを自ら作り出し、それに沿ってまとめることができる</p> <p>7 複数の事柄や考え方を相互に関連しているのかを自分なりに捉えているが、その関係の多層性や複雑さに気づけないことが多い</p> <p>8 大抵の場合、複数の事柄や考え方の関係を理解し、その関係に矛盾がないかを積極的に考えて判断することができる</p> <p>9 複数の事柄や考え方が複雑な関係にある場合でも、その関係を理解した上で、矛盾点がないかを積極的に考えて判断することができる</p> <p>10 複数の事柄や考え方の関係を理解し、矛盾点などを見出す手段だけでなく、必要に応じて、自ら事柄や考え方の関係性を整理し、新しい関係を創出し、より一貫性がある</p>	<p>Q5) リスク分析: 幅広い視点からリスクを想定し、事前に対策を講じる</p> <p>1 問題は起こってから気づくことが多い</p> <p>2 問題発生を未然に防ぐためにリスクを考えると、予測が外れたいろいろなことを覚えていることが多い</p> <p>3 経験があることについては、どんな問題が起こり得るかのリスクを想定し、事前に対策を講ずる習慣がある</p> <p>4 過去の問題発生のパターンを踏まえてどんなリスクがあるかを検討し、想定し、初めての課題に対しても対応することができる</p> <p>5 経験や過去の知恵の有無にかかわらず、あらゆる角度からリスクを検討し、想定し、可能な限り事前に手を打っている</p>
<p><b>創造力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q2) 構造理解・判断: 複数の概念の関係を理解し、関係が正しいか否かを判断することができる</p> <p>1 複数の事柄や考え方を相互に関連しているのかを自分なりに捉えているが、その関係の多層性や複雑さに気づけないことが多い</p> <p>2 大抵の場合、複数の事柄や考え方の関係を理解し、その関係に矛盾がないかを積極的に考えて判断することができる</p> <p>3 複数の事柄や考え方が複雑な関係にある場合でも、その関係を理解した上で、矛盾点がないかを積極的に考えて判断することができる</p> <p>4 複数の事柄や考え方の関係を理解し、矛盾点などを見出す手段だけでなく、必要に応じて、自ら事柄や考え方の関係性を整理し、新しい関係を創出し、より一貫性がある</p>	<p><b>言語表現力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q6) 読解力: 文章を読んで、書き手が何を言いたいのかを正確に理解、把握することができる</p> <p>1 文章を読んでも、何が書いてあるのかや書き手が何を言いたいのかをきちんとつかないことが多い</p> <p>2 内容が難しいか分からない文章については、何が書いてあるのかや書き手が何を言いたいのかをきちんとつかないことが多い</p> <p>3 大抵の場合には、文章を読んでも何が書いてあるのかや書き手の言いたいことを理解することができる</p> <p>4 量が多かたりに難しい内容の文章でも、何が書いてあるのかや書き手の言いたいことを理解し、それと自分の言葉に置き換えてまとめることができる</p> <p>5 量が多かたりに難しい内容の文章でも、何が書いてあるのかや書き手の言いたいことを理解し、それと自分の言葉に置き換えてまとめることができる</p> <p>6 量が多かたりに難しい内容の文章でも、何が書いてあるのかや書き手の言いたいことを理解し、それと自分の言葉に置き換えてまとめることができる</p> <p>7 レポートや論文、発表資料など、目的や読者に合わせて書きやすく、効果的に伝えることができる</p>
<p><b>課題解決力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q3) 計画立案: 課題解決のために、現実的で実行可能な計画を立案することができる</p> <p>1 課題に対して、どのような方針を打ちつたら良いか具体的な立案をなかなか考え出せない</p> <p>2 課題解決のために計画を立案するが、具体的には実行可能な計画でなく、大抵の場合、課題解決のために計画を立案することができる</p> <p>3 経験のあることや具体的なイメージなどから計画を立てることができる</p> <p>4 経験のあることや具体的なイメージなどから計画を立てることができる</p> <p>5 経験のあることや具体的なイメージなどから計画を立てることができる</p> <p>6 経験のあることや具体的なイメージなどから計画を立てることができる</p> <p>7 初めてのことや抽象度の高い課題でも、物事の因果関係を利用して、実行可能な計画を立案することができる</p>	<p><b>数値的解析力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q7) 記述力: 論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>1 書くべきことを整理し、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>2 書くべきことを整理し、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>3 書くべきことを整理し、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>4 書くべきことを整理し、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>5 書くべきことを整理し、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>6 書くべきことを整理し、論理的で、かつわかりやすい文章を書くことができる</p> <p>7 レポートや論文、発表資料など、目的や読者に合わせて書きやすく、効果的に伝えることができる</p>
<p><b>計画立案力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q4) 計画立案: 課題解決のために、現実的で実行可能な計画を立案することができる</p> <p>1 計画を立てることに満足して、実現可能な計画の見直しを立てることはあまりない</p> <p>2 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>3 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>4 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>5 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>6 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>7 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>8 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p> <p>9 立てた計画に対して、自分の経験に基づいて、達成の程度、問題点を客観的に評価することができる</p>	<p><b>数値的解析力</b> ●注記: 注記(1)～(7)</p> <p>Q8) 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>1 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>2 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>3 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>4 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>5 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>6 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>7 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>8 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p> <p>9 数値的解析力: 数式を用いて問題を解いたりデータを分析することができる</p>

# もうひとつの測定方法「就業力主観テスト」について

○セルフチェック票にチェックした後、下記、回答用紙にルールに従って入力し、創価大学の就業力（大分類）を表します。

創価大学の就業力 セルフチェック票 回答用紙（回答例） 実施日：

学籍番号 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_

設問	小分類		中分類		大分類		
1	分類	4	課題発見力	4	論理的思考力 複眼的な視点から、論理的に思考を展開する力	3	
2	構造理解・判断	4					
3	方策を考える	5	構想力	3			
4	計画評価	4					
5	リスク分析	2					

小分類の値の平均値を書きます。  
※割り切れない場合は、小数点以下を切り捨て。  
(例: 構想力 3.66⇒3)

中分類の値の平均値を書きます。  
※割り切れない場合は、小数点以下を切り捨て。  
(例: 論理的思考力 3.5⇒3)

# もうひとつの測定方法「就業力主観テスト」について

## 創 価 大 学 の 就 業 力 主観テスト プロット図

学籍番号:  
名前:

さんの結果です

リテラシー

論理的思考力 複眼的な視点から論理的に思考を展開する力

7

初回測定

今回

7

言語表現力 日本語及び外国語を用いて、計画な文章を書き、話す力

8

6

数量的分析力 数量的・統計的データを正確に把握し分析する力

2

3

対人基礎力 目標に向けて他社と協力的に仕事を進める力

8

7

討議推進力 世界の多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力

8

8

自己育成力 自らの行動を律し理想とする自己に近づけていく力

7

7

課題設定力 客観的に情報を収集し本質的な課題を設定する力

7

6

目標達成力 目標にそった計画を立て、具体的に実現していく力

8

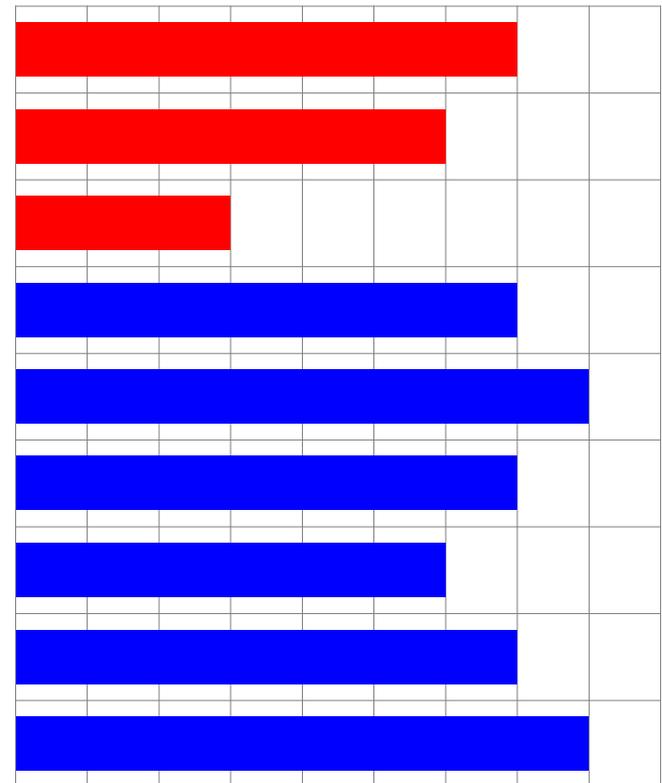
7

創造的思考力 既存概念にとらわれず独創的に考える力

5

8

1 2 3 4 5 6 7 8 9



※【環境変革力】はガイドブックをご参照ください。

Discover your potential  
自分力の発見

# 4. 社会貢献と経済学

SOKA  
UNIVERSITY

Discover your potential

自分力の発見

# 東北復興をテーマとした産学連携講座 「社会貢献と経済学」



東北の被災地より講師を招いての授業の様子

## 東北復興をテーマとした産学連携講座

# 「社会貢献と経済学」の目的

- ・「**産業界のニーズ**」に対応した人材を育成
- ・**専門科目とキャリア教育**を結びつけることを目的とした科目
- ・**働くことの意義**と大学での勉強の方針を考える機会とし、**カリキュラム・マップ**と連結させる
- ・授業全般を通して**ジェネリックスキル**を身に付ける

＊「**産業界GP**」の取組みとして実施

# 東北復興をテーマとした産学連携講座 「社会貢献と経済学」の概要

- ・ JTBコーポレートセールスとの連携講座
- ・ 前半は、東北の被災地から講師を招き、**被災地の現状と課題を学ぶ**
- ・ 中半は、**働くことと社会貢献の関係性を学ぶ**
- ・ 後半は、**OB・OGが自身の仕事に関連した課題を出し、学生が回答をプレゼンする**
- ・ 授業最終日に、産業界からゲストを招き「**東北復興プランコンテスト**」を実施する

# 東北復興をテーマとした産学連携講座 「社会貢献と経済学」の評価等

- ・ 講義期間前後に**就業力主観テスト**を実施し、学生の成長を測定
- ・ 毎回の授業で**アンケート**で理解度・満足度などを取り授業改善へ
- ・ 大学全体で行う**アンケート(最終授業日実施)**もあわせて実施
- ・ 参加学生の**インターンシップ応募者数**の向上をはかる

# 「社会貢献と経済学」就業力主観テスト実施結果

○受検対象：社会貢献と経済学 受講生(1年生)

○受検時期：1回目測定 2012年9月

2回目測定 2013年1月

○受検者数：1回目測定 82名

2回目測定 73名

1回目・2回目を両方受検している者は、69名になります。

○測定結果 下記、参照

	論理的思考力	言語表現力	数量的分析力	対人基礎力	討議推進力	自己育成力	課題設定力	目標達成力	創造的思考力
1回目測定	4.0	4.3	3.2	5.0	4.1	4.3	4.3	4.5	3.6
2回目測定	4.9	5.4	3.8	5.3	4.6	4.6	4.8	4.8	4.3

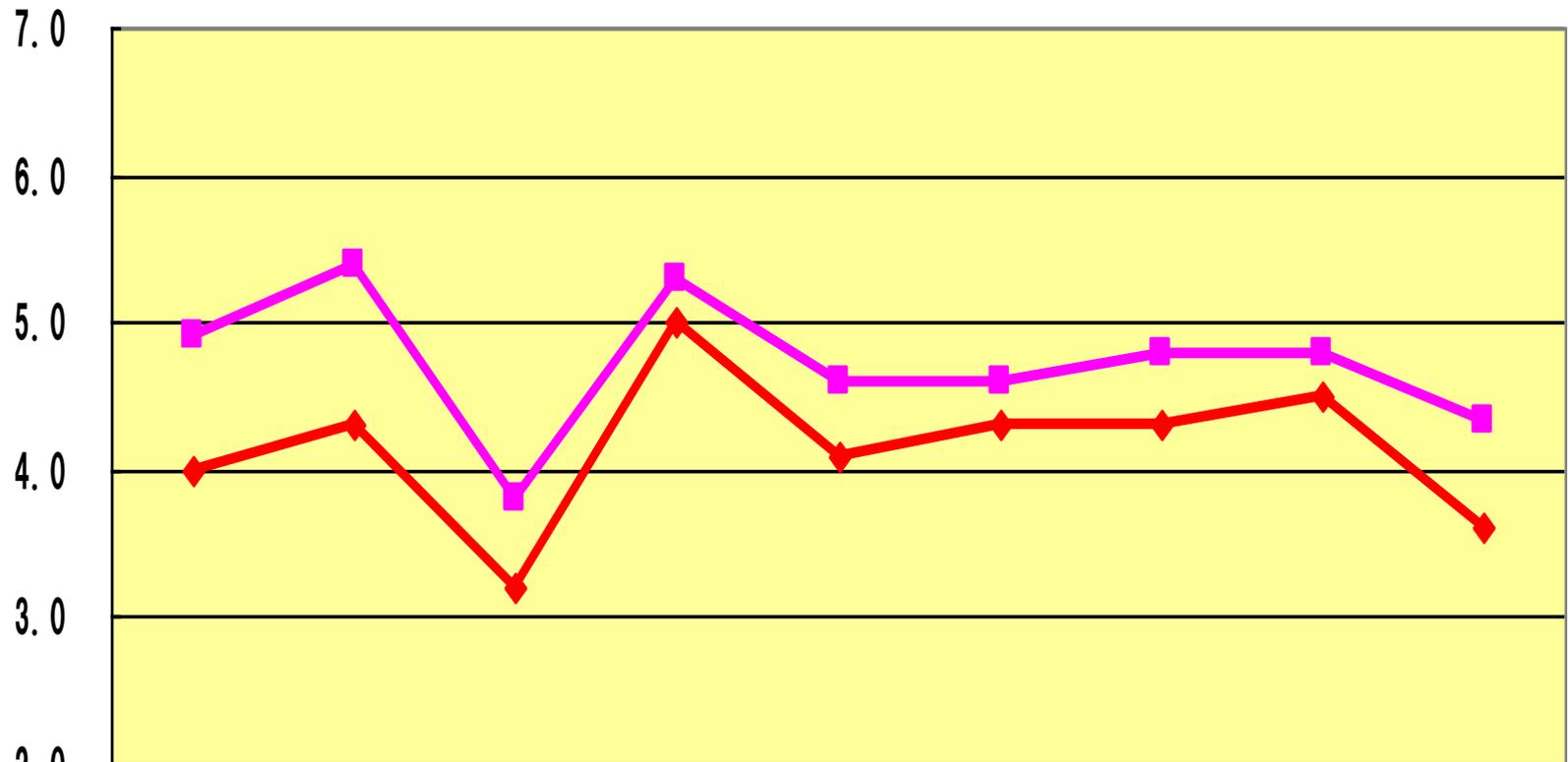
＝総括＝

全体的に1回目と2回目測定を比較すると、基礎力は醸成されている。

特に言語表現力が1.1ポイント上がっており、授業の中で、課題の趣旨を正確に理解し、レポートや発表資料をまとめていく過程で上がっているものと推測される。

**=就業力主観テスト実施結果=**

「社会貢献と経済学」 第2回授業時(1回目)第15回目授業時(2回目)



◆ 1回目測定

■ 2回目測定

論理的思考力

言語表現力

数量的分析力

対人基礎力

討議推進力

自己育成力

課題設定力

目標達成力

創造的思考力

◆ 1回目測定

■ 2回目測定

Discover your potential  
自分力の発見

# 5. 東北復興インターンシップ



Discover your potential  
自分力の発見

# 東北の被災地で実施する 「東北復興インターンシップ」



# 東北の被災地で実施する 「東北復興インターンシップ」の概要

- ・「**産業界のニーズ**」に対応した人材を育成
- ・「**社会貢献と経済学**」と連動したインターンシップ・プログラム
- ・宮城県南三陸町の「**ホテル観洋**」で実施
- ・**JTBコーポレートセールス**と連携
- ・春休み2グループ・夏休み2グループ、年間4グループ、**年間80名**が参加(1グループ2週間)
- ・**事前事後研修も実施し、2単位を認定**

## 東北の被災地で実施する 「東北復興インターンシップ」の意義等

- ・ 復興の課題を体感し、体感した**復興の課題を自身の学習に結びつける。**
- ・ 産業界のニーズに対応した人材になるために**どのような自身の就業力を高める必要があるかを発見し、人間的成長の契機とする。**
- ・ この経験を通して、**ジェネリックスキルを高める**
  - ＊ 「**産業界GP**」の取組みとして実施
  - ＊ 期間中「**復興応援塾**」にも参加
  - ＊ 事前事後研修会にて**就業力主眼ネット**を実施

# 「東北復興インターンシップ」就業力主観テスト実施結果

- 受検対象：東北復興インターンシップ前後測定(1年生)
- 受検時期：1回目測定 2013年3月 ※東北復興インターンシップ前  
2回目測定 2013年3月 ※東北復興インターンシップ後
- 受検者数：1回目測定 37名  
2回目測定 34名  
1回目・2回目を両方受検している者は、31名になります。
- 測定結果 下記、参照

	論理的 思考力	言語表 現力	数量的 分析力	対人基 礎力	討議推 進力	自己育 成力	課題設 定力	目標達 成力	創造的 思考力
1回目測定	4.7	5.1	4.0	5.2	4.7	4.7	5.3	5.0	4.3
2回目測定	5.3	5.5	4.1	5.7	5.4	5.2	5.4	5.2	5.0

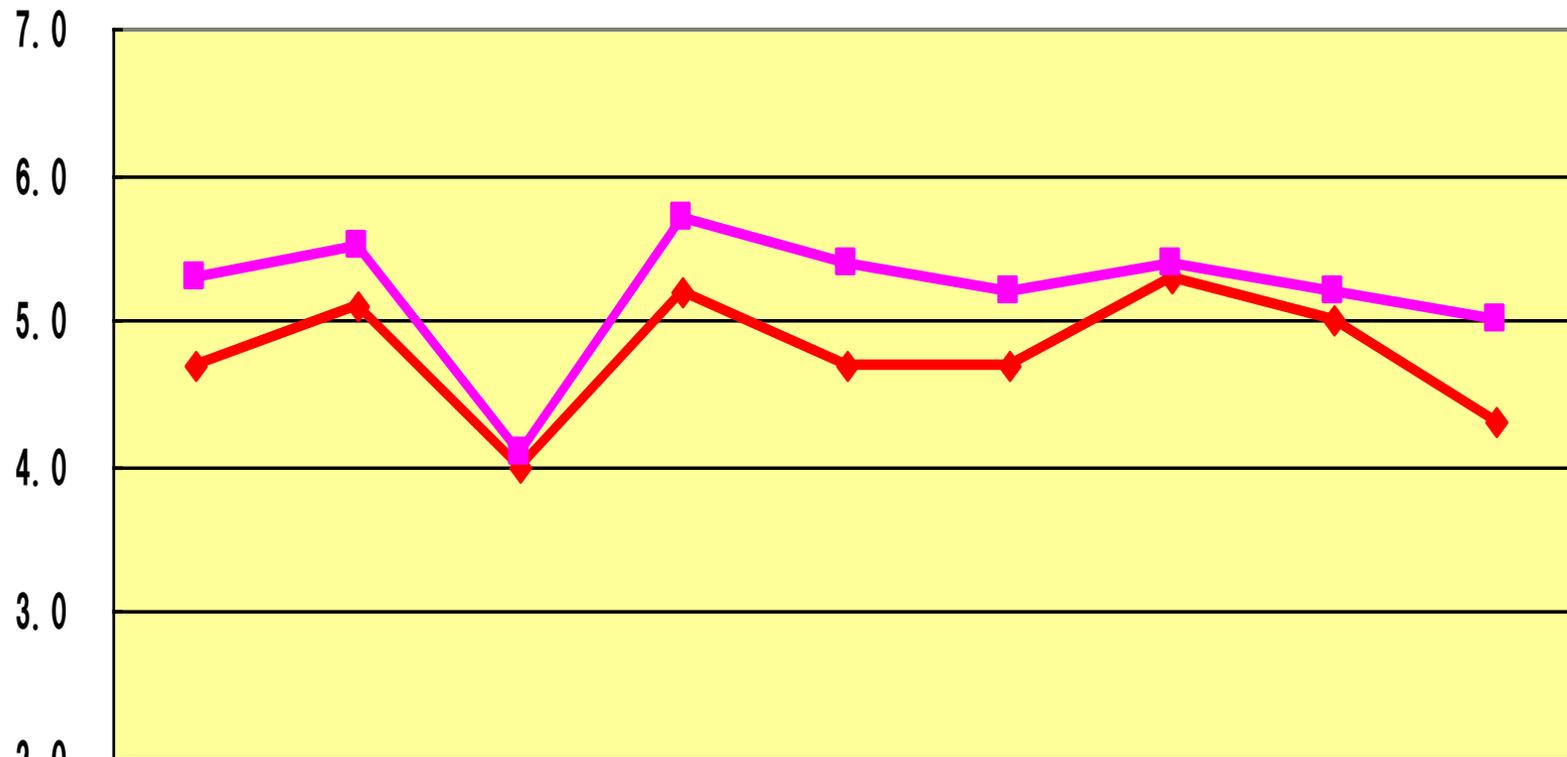
＝総括＝

1回目と2回目測定を比較すると、全体的に基礎力は醸成されている。

東北復興インターンシップの経験等から、成長を感じている事がわかる。特に、討議推進力が+0.7ポイントと一番高く伸びている。

# = 就業力主観テスト実施結果 =

「東北復興インターンシップ」 1回目インターン実施前・2回目インターン実施後



◆ 1回目測定    ■ 2回目測定

Discover your potential  
自分力の発見

## 6. まとめ

SOKA  
UNIVERSITY

# 就業力主観テストと客観テストの比較

主観・客観両方実施するメリットとしては、

①同じ診断結果フォーマットにして、どれ位自分の能力を客観的に見れているかを確認できる。

②PDCAをまわして、成長を実感させることができる。

	メリット	デメリット
<b>就業力 主観テスト</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・簡易に実施出来、大学生活でのイベント、出来事を基礎力の変化とともに振り返る事により、自分の気づきや、成長を感じる事が出来る。</li><li>・短いタームで、PDCAを回すツールとして使用できる。</li></ul> <p>(半年に1回や、年3回位等のペース)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人の主観による為、結果を、学部、学科や、他大学平均との比較が出来ない。</li><li>・測定結果に、個人の主観が入る為、客観的な分析には合わない可能性がある。</li></ul>
<b>就業力 客観テスト</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会で活躍するビジネスマンを基準として比較することにより、社会で求められる力の成長度合いを見る事が出来る。</li><li>・客観的指標を用いて、結果を、学部学科や、他大学平均と比較が出来る。</li></ul> <p>※把握したデータを元に、教育改善などに活用可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・実施に手間がかかる (テスト時間:約90分)</li><li>・短いタームでのPDCAに適さない (年に1回や、2年に1回位のペース)</li></ul>

## 創価大学における

### 「産業界のニーズに対応した就業力育成」のまとめ

- 学生がジェネリックスキル(就業力)を確認できる**指標(客観テスト・主観テスト)**を持つ。
- 初年次の**社会貢献に繋がる授業テーマ**を設け専門科目を学ぶ意義を深める(可能であれば**産学連携により社会との接点**を持つ)。
- 初年次から参加可能な、**社会貢献に繋がるインターンシップ**を実施する。
- 2年次に教員が分担して、**全学生と面談**を行い、個々の学生の進路等を相談できる体制を作る。

**東北の被災地で実施する**  
**「東北復興インターンシップ」**  
**を紹介したビデオをご覧ください。**



**ご質問等は、以下の連絡先まで  
お願い致します。**

**創価大学経済学部事務室**

**メール：feel@soka.ac.jp**

**TEL：042-691-9333**

**FAX：042-691-8232**

**HP：http://keizai.soka.ac.jp/**

Discover your potential  
自分力の発見

**ご静聴ありがとうございました**

SOKA  
UNIVERSITY